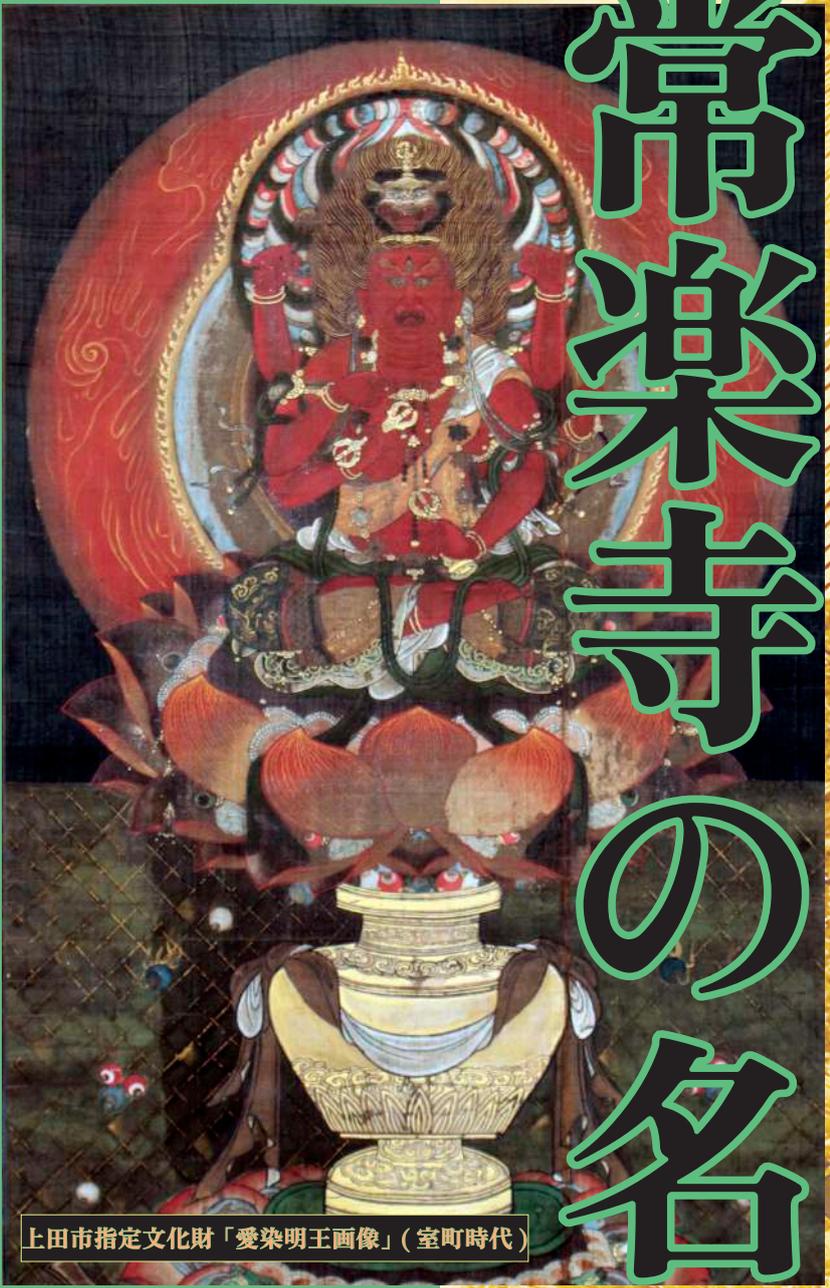


常楽寺の名宝



上田市指定文化財「愛染明王画像」(室町時代)



企画展記念コンサート

遙かなるモンゴル

馬頭琴が聖霊の地に響く

イラナ演奏会

共演 岩尾照尚 (能登翠雲寺住職)

11月9日(日)午後6時

北向観音 入場無料

馬頭琴奏者 イラナ



伝葛飾北斎画「紅葉狩」19世紀



令和7年
8月1日(金)~12月25日(木)
開館時間 9:00 ~ 16:00

常楽寺美術館

〒386-1431 上田市別所温泉 2347 TEL0268(37)1234 FAX0268(38)8545 E-Mail kitamuki33@gmail.com
入館料:大人500円、高専大生300円、小中生100円、身体障害者350円、30名以上団体1割引
後援:上田市、上田市教育委員会、別所温泉観光協会、上田電鉄株式会社、株式会社上田ケーブルビジョン、週刊上田新聞社、信州民報社、東信ジャーナル社

北向観音・常楽寺の歴史

今年、令和七（二〇二五）年、北向観音と常楽寺は、開創千二百年を迎えます。寺伝によれば、平安時代初期の天長二（八二五）年、常楽寺の裏山に火坑が出現しました。比叡山延暦寺の慈覚大師円仁が朝廷の命によって修法すると、火坑から紫雲がたなびき、火焰とともに金色の千手観音菩薩（千手観音菩薩）が飛翔し、北向山の桂の木の梢に留まった、と伝えます。

慈覚大師は、千手観音菩薩の出現靈地に常楽寺を、北向山の桂の地に北向観音堂を開創。以来、常楽寺は天台教学の拠点として、北向観音は、現世衆生救済の祈願寺として繁栄してきました。



北向山厄除千手観世音火坑出現図



北向観音堂



観音出現地の石造多宝塔（常楽寺・重文）



常楽寺本堂（上田市指定文化財）

企画展「常楽寺の名宝」の主な展示

仏典・仏像・仏画

室町幕府初代將軍足利尊氏が発願した大般若經六百卷を納める経箱と經文（写真）の一部を展示します。また、天正二（一五七四）年東大寺復興開眼供養の際の誕生釈迦如来立像や、北向観音を修理したという北条国時像、狩野派の雲中普賢菩薩画像などの仏画、平安時代後期の不動明王線刻鏡像をご覧いただけます。

画人・文化人の作品

上田市の出身で、江戸時代中期の和算学者斎藤善兵衛の算額や、俳人加舎白雄の「観音の歌」に加え、常楽寺に伝わる鬼女紅葉伝説を描いた葛飾北斎の「紅葉狩」を展示します。

近代では、常楽寺本堂の襖絵を描いた傳益瑤の父傳抱石の「井崗山之頌」、棟方志功の「騎象普賢菩薩像」・「騎獅文殊菩薩像」などを紹介します。

指定文化財

常楽寺の指定文化財の中から、葛飾北斎の「劉備壇溪渡河図」、鎌倉時代の「聖観音菩薩画像」、室町時代の「愛染明王画像」、近世画人窪俊満の「藤娘と鬼の念仏」を展示します。

また、北向観音前立本尊の御開帳期間（十月十一日～十一月九日）には、太宰府へ左遷される菅原道真を描いた「綱敷天神画像」（長野県宝・室町時代）も特別展示する予定です。

※常設展示もバージョンアップし、北向山厄除千手観世音火坑出現図や徳川家康日課念仏のほか、密教法具などもご覧いただけます。



誕生釈迦如来立像（天正二（一五七四）年）



騎象普賢菩薩像（棟方志功）



企画展 「常楽寺の名宝」 展示資料

名称〔時代・作者・法量㎝〕

- 企画1 大般若経箱 〔大永七（一五二七）年・大工原正林入道、細工近江国住僧正安、削上総国千葉住僧長仙坊、染師大沢宮内少輔・縦三四・〇×横四三・五×高五三・五〕
- 企画2 大般若経卷十一【写真】 〔観応三（一三五三）年・願主足利尊氏・縦二七・五×横一一・三〕
- 企画3 不動明王線刻鏡像 〔平安時代末・不明・径十七・四〕
- 企画4 誕生釈迦仏立像 〔天正二（一五七四）年・南都大仏師浄心・像高三・一〕
- 企画5 塩田陸奥守北条国時像 〔江戸時代・不明・像高十六・七〕
- 企画6 聖観音菩薩画像 〔室町時代・不明・一一・五・〇×四四・五〕
- 企画7 如意輪観音菩薩画像 〔室町時代・不明・七九・五×三八・五〕
- 企画8 天台大師画像 〔室町時代・明兆・七七・〇×三六・〇〕
- 企画9 達磨図 〔桃山時代・（伝）雲谷等顔・六三・四×四一・〇〕
- 企画10 雲中普賢菩薩像 〔桃山時代・狩野派・一九三・〇×一三八・四〕
- 企画11 算額 〔文政十一（一八二八）年・斎藤善兵衛・八五・〇×一一五・〇〕
- 企画12 観音の歌 〔江戸時代一八世紀・加舎白雄・一〇一・八×二七・六〕
- 企画13 紅葉狩 〔江戸時代一八世紀・（伝）葛飾北斎・六〇・八×二九・六〕
- 企画14 井崗山之頌 〔一九六四年・傳抱石・一〇四・〇×二二六・〇〕
- 企画15 騎獅文殊菩薩像 〔一九五五年頃・棟方志功・六一・〇×五三・〇〕
- 企画16 騎象普賢菩薩像 〔一九五五年頃・棟方志功・六一・〇×五三・〇〕
- 企画17 劉備壇溪渡河図 〔一九世紀初頭・（伝）葛飾北斎・六八・八×一〇六・〇〕
- 企画18 聖観音菩薩画像 〔鎌倉時代・不明・一一・〇・六×五一・二〕
- 企画19 愛染明王画像 〔室町時代後期・不明・一一・六・〇×五九・五〕
- 企画20 藤娘と鬼の念仏 〔十九世紀初頭・窪俊満・四四・〇×六四・六〕

常設展 展示資料

名称〔時代・作者・法量㎝〕

- 常設1 北向山厄除千手観世音火坑出現図 〔明治十四（一八八一）年・石亭竹本興・七四・〇×四八・〇〕
- 常設2 別所北向観音像下図 〔昭和九（一九三四）年・荒井寛方・二二・七・四×四七・六〕
- 常設3 慈覚大師円仁坐像 〔十八〜十九世紀・定朝四拾三代京仏師（田中兵助）・像高五四・四〕
- 常設4 紺紙金銀字交書華嚴経断簡 〔平安時代・不明・二五・六×五三・二〕
- 常設5 法華経 〔平安時代末・福岡県四王寺跡経塚出土・縦二四・〇〕
- 常設6 銅鑄製経筒 〔平安時代末・福岡県出土・総高三・二×蓋径一〇・八〕
- 常設7 阿弥陀三尊立像 〔江戸時代・不明・八五・六×三六・六〕
- 常設8 観音経浄土曼陀羅図（当麻曼荼羅） 〔江戸時代・不明・一五六・〇×一五七・三〕
- 常設9 阿弥陀如来立像 〔鎌倉時代十三世紀・不明・像高三五・四〕
- 常設10 地藏菩薩立像 〔平安時代十二世紀・不明・像高六四・四〕
- 常設11 不動明王立像 〔室町時代・不明・八六・五×四一・六〕
- 常設12 五大尊像 〔室町時代・不明・一〇七・六×五二・六〕
- 常設13 名誉十八番紅葉狩 〔明治二七（一八九四）年・右田年英・三七・三×四九・五〕
- 常設14 平維茂戸隠山鬼女退治之図 〔明治二〇（一八八七）年・大蘇芳年・七三・八×二五・〇〕
- 常設15 慈眼視衆生 〔昭和時代中期・半田孝海・一二・五・〇×三二・八〕
- 常設16 道心之中有衣食 〔昭和時代後期・半田孝淳・一二・六・六×三三・二〕
- 常設17 徳川家康日課念仏 〔江戸時代初期・徳川家康・二六・四×一〇四・二〕
- 常設18 金銅盤・五鈷杵 〔金剛杵 鎌倉時代・不明・長径二五・五×短径一九・〇×高四・三
五鈷杵 室町時代・不明・長一四・五×幅四・二〕
- 常設19 金銅六器 〔鎌倉時代・不明・口径二・八×器高四・三〕

特別展示 十不二門文心解 【写真】